

2020年4月7日

関係者各位

COVID-19 医療対応のための医療従事者個人用防護具の安定供給に関する 緊急のお願い

東京大学医学部附属病院 救急科(救命救急センター・ER/集中治療部) 教授 森村尚登
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 教授 嶋津岳士
大阪急性期・総合医療センター 高度救命救急センター 救急診療科 部長 藤見 聡
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター 教授 松本 尚
さいたま赤十字病院 副院長 清田和也
横浜市立大学市民総合医療センター高度救命救急センター 教授 竹内一郎
兵庫県災害医療センター センター長 中山伸一
北九州市立八幡病院 病院長 伊藤重彦

本日の緊急事態宣言を受けて、指定都府県による緊急措置が開始されました。現在、指定地域のみならず日本全体で COVID-19 への医療対応が喫緊の課題であり、ワクチン開発、早期発見の仕組み、治療法の開発、医療機関受け入れ態勢、集中治療など多岐にわたる領域において、まさに総力戦で各人、各組織・機関が対応しているところです。

しかしながら、医療現場では個人用防護具の圧倒的な不足に喘いでいる現況にあることは周知のところであると思います。フロントラインに立つ医療従事者の防護が不備な状態では、対応することはままなりません。今後急激に増加することが予想される状況に鑑み、個人用防護具(特にマスク、フェイスシールド、ガウン)は絶対不可欠です。特に N-95 マスクについては、危機的な不足状況にあり、このままでは医療従事者が感染のリスクにさらされ、治療を遂行することができません。

N95 の国内生産、N95 の代替具(例えば、アクリル製の患者頭部被覆箱等)などについて、大至急ご検討いただける企業や団体の方々はおられませんでしょうか。私たちは、COVID-19 の患者さんの診療の際に必要な機能を提示いたしますので、それを備えた防護具の作成と供給のご検討をお願い申し上げます。併せて行政にこのことを強く進言するものであります。

今なら間に合います。どうか皆様のご支援、ご協力を賜りたく、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

連絡先

東京大学医学部附属病院 救急科・災害医療マネジメント部
東京大学大学院医学系研究科救急科学分野
森村尚登

toudaidam@m.u-tokyo.ac.jp